

2000年10月～2001年3月

刊行物

* 国研叢書第2期第6冊

激動・終焉期のドイツ民主共和国（DDR）労働法

宮崎鎮雄／大橋範雄

創土社、定価（本体5,000円＋税）1998年3月31日発行 A5判 425ページ

なお、都合で刊行が遅れました。

* 国際問題研究所紀要 第114号 2000年12月30日 414ページ

〈論説〉

ヨーロッパ連合（EU）における外国語教育政策と異文化間
コミュニケーション（その4）—ベルギーの外国語教育—

平尾 節子

東亜同文書院教授鈴木沢郎の満州国調査旅行

森 久男

MERCOSUR and International Trade

栗原 裕

“Warum ist denn nicht Nichts?”

—Eine Konfrontation der Philosophie Schellings mit dem Nichts
der japanischen Philosophie—

寄川 条路

韓国自動車部品産業における複合・単層的分業関係の構造

—90年代前半期の現代自動車の部品取引—

李 泰王

ブシュ対ヴィアア裁判の研究

酒井 吉栄

戦後権力再建における中国国民党と幫会(1)

孫 江

台湾海峡危機[1954-55]における国連安保理停戦案と米国議会の「台
湾決議」

松本はる香

中国の民主化とその課題

加藤 寛昭

中国企業の民主管理における品質管理活動

—制度としての「民主管理」とQC活動を中心に—

張 慧娟

貨幣の諸機能と管理通貨制度(2)

渡辺 眞登

〈研究ノート〉

中国刑法における罪刑法定主義観の変遷について(3) 夏目 文雄
党軍関係と戦略思想から見た中国人民解放軍(1)

—中国人民解放軍の歴史像— 邵 倫

〈資料〉

五・四運動の翌年における排日排貨の状況 谷 光隆

〈翻訳〉

譚嗣同「南学会講義」 池上 貞一

有期労働関係の許容性に関するドイツ連邦労働裁判所判決
石原 和子

* 国際問題研究所紀要 第115号 (特集号「アジア文化交流」)

2001年3月20日 230ページ

〈論説〉

インドネシアにおける初等教育とインフォーマル・エデュケーション
黒柳 晴夫

Bengali Identity and Muslim Consciousness

—The Dialectics of Nationalism—

Sai Kurasawa (Murtuza M. Syed)

異文化間心理学から考えるアジアとの共存の意味 新倉 涼子

冷戦から経済自由化までの印米関係の変容と軌跡

—経済関係の断絶と交流— 澤田 貴之

浅论日汉词汇中的同素逆序词 劉 平

韓国基層文化としての人間関係性の概念 常石 希望

現代韓国社会と釈誕節 片 茂永

1942年日泰文化協定をめぐる文化交流と文化政策 加納 寛

ロシア正教会の朝鮮宣教史 清水 伸子

* 四研究所合同シンポジウム記録集 2001年3月31日 72ページ

21世紀の日本と日本国憲法—国の安全保障と人間の安全保障—

パネリスト

久保田 真苗 氏 (元経済企画庁長官・元国連女性の地位向上部長)

田 中 秀征 氏 (元経済企画庁長官・元新党さきがけ代表代行)

講演会等

* 国研公開講演会

日 時 2000年12月15日 15:00~16:30
場 所 名古屋校舎東教室棟2階, E204
講 師 織茂 秀子 (舞台女優)
テーマ 「旅人打鈴 (ナグネ タリヨン)」を演じて

* 定期研究会

2000—第3回定期研究会

日 時 2001年3月7日
場 所 名古屋校舎研究館2階, 第7会議室
報告者 山岸 健太郎 (愛知大学中国研究科研究生)
テーマ 中国外交から見た中国—「いわゆる台湾の国連再加盟
をめぐる諸問題」と「難民政策」の側面から—

会 議

- * 運営委員会 2000年11月6日 (第3回)
2001年3月7日 (第4回)